



ソーシャルビジネスってどのくらい『ソーシャル』なんだろう？
～フィリピン小規模農民向け農機レンタル事業を事例とした検証～

日時：2014年5月25日(日) 10:30～13:00

会場：JICA地球ひろば セミナールーム201 (JR市ヶ谷駅から徒歩10分)

参加費：1000円

定員：20名 (先着順)

ビジネスとして経済的な利益を生み出しながら、ソーシャルインパクトをもたらすとして、注目を集めているソーシャルビジネス。その「ソーシャルさ」とは、何をどのように測るのでしょうか？今回はGLMiがフィリピンで実施する「小規模稲作農家を対象にした農機レンタル事業(通称ARMLLED)」を取り上げ、「ソーシャルビジネスのソーシャルさ」を考えるセミナーを実施致します。セミナーでは、従来の開発援助プロジェクトの評価や、近年注目を集める社会的投資収益率(SROI)といったソーシャルインパクトの評価ツールのコンセプトを紹介した後、グループワークでARMLLEDのソーシャルインパクトの分析に挑戦します。ソーシャルビジネスについて、さらに一歩深く理解してみませんか？皆様のご参加お待ちしております。

内容(一部変更の可能性あります)

- ・ソーシャルビジネスの「ソーシャルさ」とは？
- ・GLMiのARMLLEDプロジェクトの紹介
- ・SROIの紹介
- ・ARMLLEDのソーシャルインパクトを考えるグループワーク
(作業に必要なため、各自電卓をお持ちください)
- ・終了後、希望者による懇親会を予定



※本セミナーにおいては、SROIの概要と基本的な仕組みを紹介し、分析プロセスの導入部分であるインパクトマップを使用したグループワークを行います。SROI手法全プロセスの内容を網羅するものではなく、SROI算出のための計算方法等については取り扱いませんので、ご注意ください。

<講師紹介>

相馬 真紀子氏：GLMインスティテュート理事。2005年よりフィリピン、ヌエバ・ビスカヤ州に赴き、参加型森林管理支援プロジェクトの立ち上げと運営、その後ARMLLEDの立ち上げを行う。現在は同地にて実施する「有機農産物の生産を通じた貧困農民の生計向上支援事業」のプロジェクト・マネージャーを務める。

皆元 理恵氏：ARMLLEDフィールド・マネージャー。民間企業、公的機関を経て2013年8月よりGLMインスティテュートに入局。フィリピン人プロジェクト・マネージャーと共に本プロジェクトを主導。

<申込み方法> ホームページ
(<http://www.glm-institute.org/>)より申込
フォームにて登録、または裏面をFAX/メール
にて事務局(河辺/國光)までお申込みください。

<お問合せ先>
(特活)ジーエルエム・インスティテュート
TEL:03-5766-1466 / FAX:03-5766-1451
Eメール：event@glm-institute.org

ソーシャルビジネスってどのくらい『ソーシャル』なんだろう？
～フィリピン小規模農民向け農機レンタル事業を事例とした検証～

参加申込書

お名前:

ご所属:

Email:

TEL:

1. どちらで第11回国際協力塾のことを知りましたか？
(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|--------------------|---------------|
| ①これまでの国際協力塾に参加 | ②GLMiのホームページ |
| ③GLMiのfacebookのページ | ④JANICのホームページ |
| ⑤PARTNER | ⑥メーリングリスト関係 |
| ⑦大学の先生や掲示板より | ⑧友人・知人より |
| ⑨関係者より | ⑩その他 |

2. 懇親会への参加 (出席 / 欠席)

3. メッセージ(本セミナーに期待すること)やお問い合わせ等ございましたらご記入ください。

ありがとうございました